安全衛生委員会年間計画（令和　　　年度）

**作成イメージ**

学校名　　　　　　　　：　府立　○○学校

安全衛生管理者名　　　：　□□　□□

衛生管理（推進）者名　：　△△　△△

|  |  |
| --- | --- |
| 安全衛生方針及び目標 | ≪働きやすい職場環境作り≫と≪教職員の健康≫を目的に安全衛生教育を実施する。 |
| 重点実施事項 | メンタルヘルスに関する研修の実施、長時間労働の縮減、職場一斉清掃 |

＜月別計画＞　委員会開催日：原則第３金曜日の５時限目

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 月 | 計画 | 実施状況 | 委員会欠席者 |
| ４月 | 年間計画策定  初任・転任者への安全衛生教育  校内巡視重点エリア（体育館） | 年間計画を職員会議の場でも共有。  初任者への校内研修でメンタルヘルスの相談窓口を案内。 | なし |
| ５月 | 長時間労働防止月間  校内巡視重点エリア（職員室） | ４月の時間外データを全職員に提示、委員が毎週水曜日に定時退校を促した。  業務効率化のため、業務のスクラップ＆ビルドできるものはないか検討。 | ○○教諭  （出張のため） |
| ６月 | 定期健康診断について  校内巡視重点エリア（特別教室） | 産業医による健康相談の時間を設定  産業医によるミニ健康講座の開催 |  |
| ７月 | 府立学校安全週間の実施  校内巡視重点エリア（　　　　） |  |  |
| ８月 | 安全衛生教育の実施（メンタルヘルス・安全教育） |  |  |
| ９月 | ストレスチェックの実施について |  |  |
| １０月 | 府立学校衛生週間の実施 |  |  |
| １１月 | 健康相談の推奨月間 |  |  |
| １２月 | 職場巡視による安全点検等の実施 |  |  |
| １月 | ヒヤリ・ハットの事例収集  リスクアセスメントの実施 |  |  |
| ２月 | ４S（整理・整頓・清掃・清潔）活動の励行 |  |  |
| ３月 | 年度総括と次年度計画の見直し |  |  |

**＜安全衛生委員会年間計画における実施内容＞**　　参考：大阪労働局「年間安全衛生計画」より

|  |  |
| --- | --- |
| 重点実施事項 | 実施内容（例） |
| 安全衛生管理  体制の確立 | 年間計画の立案、安全衛生委員会の定期開催、職員会議等において議事概要の周知、安全･衛生啓蒙ポスターの掲示等 |
| 職場の安全衛生と  作業環境の確保 | 職場の安全衛生巡視、４S（整理・整頓・清掃・清潔）活動の励行、ヒヤリ・ハットの事例収集、機械・安全装置の作業安全点検の励行、救急用具の確認、作業環境測定等 |
| 健康管理 | 定期健康診断・特別健康診断の実施、長時間労働者への面接指導の実施  ストレスチェック制度の実施 |
| 安全衛生教育の実施 | 初任者や転任者への安全衛生教育の実施、普通救命講習の受講  安全衛生管理者研修及び衛生管理者研修を受講・伝達研修の実施、校内研修（大阪メンタルヘルス総合センター等の活用）、承認研修への参加 |
| リスクアセスメント | 薬剤等の管理について調査 |
| その他の推進事項 | 府立学校安全週間及び府立学校衛生週間の実施 |

**＜各校における協議テーマ＞**　　参考：平成28年度安全週間取組み等の調査より

・教職員の長時間勤務と面接指導について、ノー残業デーの実施、労働負担の軽減について

・ストレスチェックの実施に向けた検討、メンタルヘルスに関する事項

・安全点検の現状について、職場の危険個所についてのアンケート実施とその総括

・熱中症対策を含め各季節ごとに職員の体調管理の助言について

・健康診断の重要性について、若いうちから気をつけたい食生活・糖尿病について

・職員室の環境改善（水回り清掃、ゴキブリ対策、机の整備）

・腰痛予防について、腰痛予防講座の実施

・職場での怪我防止について

・労働安全衛生委員会主催の教職員対象の研修会の開催について

**＜各校における安全衛生委員会活性化の方策＞**参考：平成28年度安全週間取組み等の調査より

・今年度の重点課題として「時間外勤務の解消」をテーマに検討。その解決策の方向性を運営委員会に提案し、学校全体で共有・実行。安全衛生委員会からの具体的な提案・発信が自分たちの心身の健康と健全な職場作りに役立っていると実感できるように安全衛生委員会を運営。

・委員会開催前に各学部（支援学校）において、労働安全に関する聞き取り等を行い、校内の課題を共有する。

・≪働きやすい職場環境作り≫と≪教職員の健康≫を目的に、毎月産業医と委員会の内容を共有。

・産業医による校内巡視での気づき等を話題提供してもらい、教職員で情報共有。

・委員会の会議録を共有フォルダにおき、誰もが会議の内容を見ることができるようにする。

・産業医を講師として「健康診断個票の見方と生活改善」の研修会を実施。

・４月に第１回安全衛生委員会を開催し、産業医を交え、年間計画（毎月の実施日）を立てる。

・職場環境を良くするための意見を委員より提案、実現可能な方策を検討。

・安全衛生委員会だよりを学期ごとに発行。

・時間外勤務の月別状況をまとめ、職員の状況について委員で共有。

・委員には事前に委員会会議資料を回覧し、職員には校内掲示板等を利用して情報を伝える。

・職場環境については、委員に限らず、広く職員全体に意見を求める。